

# デジタル化による業務の効率化の推進

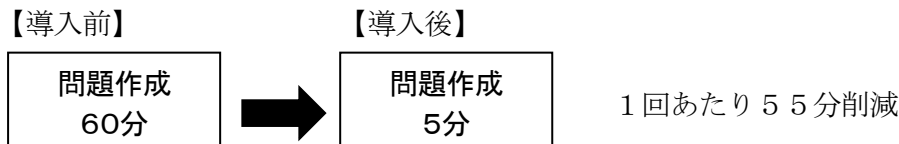
北茨城市立精華小学校

## 1 ねらい

業務のデジタル化により仕事の効率化を図り、授業改善の時間を確保するとともに時間外勤務の削減につなげる。

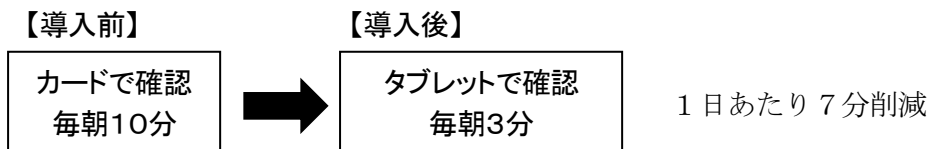
## 2 実践

### (1) 算数力テストの問題作成アプリの活用（日本標準の Web 上で）



**55分 × 年間回数6回 = 330分 (5.5時間)削減**

### (2) 健康観察アプリの活用（リーバーの導入）

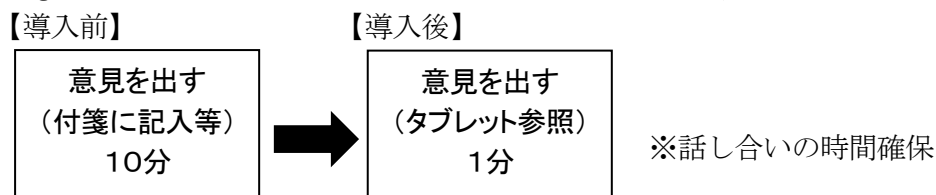


**7分 × 190日 = 1330分 (約22時間)削減/年間**

### (3) Google フォームの活用

#### ア 授業評価

校内研修における授業相互参観において、参観時の感想や意見をタブレット PC から Google フォームに記入することで、授業後の話し合いの効率化を図っている。



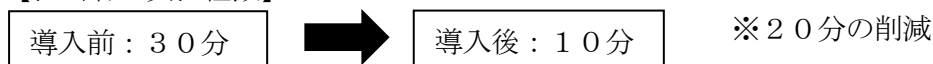
#### イ 保護者アンケート

- ・保護者の奉仕作業への出欠の取りまとめ  
担任の取りまとめ、集計負担の削減 (10分)

#### ウ 教育活動の反省

- ・これまで反省用紙に記入して提出し、担当者が取りまとめしていたものを Google フォームに記入することで速やかに取りまとめることができるようになった。

#### 【担当者の負担軽減】



- 反省を計画書に記載して保存しておくことで、次年度の計画案が簡単に作成できるようにする。(次年度の校務の効率化につなげる)

**Google フォームを効果的に活用することで、これまで処理にかかっていた時間を半減させることができ、教材研究等の時間を確保することができる。**